

ヤマニ屋物流サービス（相良拓弥社長、茨城県境町）は7年前、死亡事故を相次いで起こしたのを契機に、安全への意識強化を最重点に掲げた。対策の一環として、道路交通安全マネジメントシステムの国際規格ISO39001の取得に向けて全社一丸となつて取り組み、2015年3月、茨城県の運送事業者としては2番目の認証取得を果たした。

ISO取得に向け、各部署の責任者クラスを集め、交通事故防止を目的とするRTS委員会と、商品事故防止のための品質委員会を設置。取得後は交通事故が大幅に減少し、2年前から自動車損害保険の優良割引率は最大となる70%を継続している。現在も毎月、会社を開き、高い安全意識の継続に努めている。

相良社長（38）は「外部コンサルタントに依存せ

交安マネネ国際規格取得

全社一丸で取り組み ヤマニ屋物流サービス



新人ドライバーや事故惹起者に対して安全研修を随時、実施

年前からは専任の指導員にしている。主に、新人ドライバーや事故惹起者への教育を担当。18年の茨ト協ドラコンでは、

「自社のスタッフだけでなく、取得することが重要だと考え、全員で危機感を持って取り組んだことが成功につながった」と話す。

座学だけではない。自動車学校の教官を務めていた人が10年ほど前、同社にドライバーとして入社し、茨城県トラック協会（小林幹愛会長）が主催するドライバー・コンテストで入賞。そうした実績を評価し、2

女性の部で同社グループの女性ドライバーが優勝した。安全への意識付けがグループ全体に浸透している証しとも言える。

「5年ほど前から、毎年5月に『クリーンデー』と銘打って、会社周辺の道路清掃活動を行っている。モラルを高めることが目的で、参加者は回を重ねるごとに増えている。こうした取り組みが安全への意識高揚にもつながっている」

（谷本博）